和文投稿規定

令和4年12月1日

投稿原稿：医学及び保健学に関するもので，他誌に発表されていないものに限る．またCommittee on Publication Ethics (COPE)が提供する国際標準（http://publicationethics.org/files/International%20standards.authors.for%20website.11.Nov.2011.0.pdfが現行版，適宜最新版を参照のこと）を遵守して作成されたものに限る．臨床研究や疫学研究，ヒトゲノム等のヒトに関わる研究は，ヘルシンキ宣言などの倫理指針を遵守，所属機関の倫理審査委員会等の許可を得て行うこと．動物実験，遺伝子組換え実験は，所属機関の動物実験委員会，組換えDNA実験安全委員会等の許可を得て行うこと．日本語及び英語の論文を受け付けるが，本規定は日本語論文に適用される．英語論文についてはINSTRUCTIONS TO AUTHORSによる．但し，英語論文で和文単行本ないし和文雑誌を引用する場合は，下記の引用文献に関する規定に従うこと．著者(共著者を含む)は原則として会員に限る．投稿に際して，著者はCOPEの国際標準を遵守して作成した旨等を記した投稿用シートにサインし添付する．他に発表したものについては，許可を取る．学位審査を受ける予定の論文(主論文，副論文)は投稿に際してその旨，及び主科目，副科目，選択科目，指導(推薦)教員名を申し出る．投稿論文の採否については，編集委員会の審査で決定する．掲載後のすべての著作物の著作権は，北関東医学会に属し，他誌への無断掲載はお断りする．

原稿の様式：原著，症例報告，資料，総説，その他とする．原稿の様式は，和文の表紙［標題，英文表題，著者名，ローマ字表記の著者名，所属機関名及びその所在地，20字以内の和文ランニング・タイトル，表及び図の数，論文別刷請求先（氏名，住所，Eメールアドレス，電話番号，ファクス番号）を明記すること］，和文要旨，本文，文献，図表の説明，図表，英文要旨の順に記述する．なお，原著，資料には，要旨の中を項目（背景・目的，対象と方法，結果，結語）分けとし，症例報告は項目分けにしない．要旨の後に5語以内の和文キーワードをつける．英文要旨の頁は，標題（120文字以内），著者名，所属機関名及びその所在地を英文で記載し，英文要旨（200語以内，和文要旨と同内容），key words（5語以内）を添付する．投稿内容に関連して開示すべき利益相反（conflict of interest）がある場合には，その内容を記事の末尾等に記載すること．利益相反に関する一般的な概念については，"Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals（http://www.jcmje.org/ethical.4conflicts.htm）を参照のこと．

原稿の書き方：原著，資料の本文は，緒言，方法，結果，考察の順に記載する．症例報告の本文は，緒言，症例，考察の順に記載する．原稿はワードプロセッサーを使用し，A4判用紙の片面に横書きとする．ファイルはマイクロソフトワード形式（.doc，.docx）とする．文中欧米語の固有名詞，薬品名は原語のまま用い，外国語で一般に日本語化しているものはカタカナを用いてよい．論文中に略語を用いて差支えないが，初出の場合は省略しない．年号は西暦に統一する．図，表の挿入場所は本文の欄外に指示する．

図，表，写真：台紙に貼付し，それらに対する説明文は別紙に一括する．また，その説明文については，原著論文の場合，英文が望ましい．写真及び図・表は11×8 cmの大きさに紙焼きするのが望ましい．写真は明瞭なものに限り，必要なら矢印（直接写真に貼付）などを入れ，わかりやすくする．これらのデジタル化［TIFF(.tif)］したファイルも歓迎する．なお，写真の解像度は350dpi以上必要である．

引用文献：文献は本文中に肩付けした引用番号順に配列する．誌名略記はIndex Medicusに従う．和文雑誌名は省略しない．和文単行本を英語論文で引用する場合，書名は原則としてヘボン式ローマ字書きで記載し，英文書名を記す必要があれば翻訳し，ローマ字書きの後に丸括弧に入れて付記する．また西暦発行年の後に（in Japanese）と記載する．和文雑誌を英語論文で引用する場合，誌名は原則としてヘボン式ローマ字で記載し，英文誌名を持つものは，必要があれば丸括弧書きで付記する．正式な英文誌名のないものは英文誌名を付さない．また英文誌名は，その略記名が定められているときは略記しても構わないが，略記名が不明の場合は略記せず完全誌名を記載する．なお，英文標題がないものは標題をヘボン式ローマ字で記載し，ローマ字の後に丸括弧に入れて翻訳標題を付記し，頁の後に（in Japanese）と記載する．英文抄録が記載されている場合は，頁の後に（Abstract in English）と記載する．文献の著者名は3名までを明記し，それ以上は，〔ら〕，またはet al.とする．文献の書き方は下記に従い，標題は副題を含めてフルタイトルを記す．

雑　誌

2. 鈴木和浩，中里晴樹，斎藤佳隆ら．精巣上体に孤立性多発動脈炎を認めたセミノーマ．臨床泌尿器科　1994; 48: 515-519.
3. Hinton RC, Mohr JP, Ackerman RH, et al.　Symptomatic middle cerebral artery stenosis.　Ann Neurol　1978; 5: 152-157.
4. Kawada T, Kubota F, Ohnishi N, et al.　Yokuutsu jotai hyoka notame no kan-i sukuriningu tesuto no yukosei (Validity of screening test for the evaluation of depressive state). Sangyo Igaku (Jpn J Ind Health) 1992; 34: 576-577 (in Japanese).
5. Katsura T, Nojiri M, Nakano M.　A basic study on aging and stress: Stress appraisal in rural inhabitants of middle and advanced age.　Nippon Noson Igakkai Zasshi (J Japanese Association of Rural Medicine) 1996; 45: 483-492 (Abstract in English).

単行本

8. 勝木司馬之助．脳血管障害の疫学．沖中重雄，亀山正邦（編）．脳卒中のすべて．東京：南江堂，1971: 45-64.
9. Shimada K (ed). Kinrin shakai no ningen kankei (Human relationship in neighborhood). Tokyo: Buren Shuppan, 1988 (in Japanese).
10. Brierly JB, Brown AW, Levy DE.　Relationship between ischemic neuronal neuronal damage and edema in primate and rodent brain.　In: Pappius HM, Feindel W (eds). Dynamics of Brain Edema.　Heidelberg: Springer-Verlag, 1976: 254-261.
11. Day RA.　How to write and publish a scientific paper.　Philadelphia: Institute for Scientific Information, 1979.
12. Kaitin KI.　Don't turn back the clock on drug regulatoryreform.　Tufts CSDD Impact Reports 5 (May/June 2003) http://csdd.tufts.edu/_documents/www/Doc.233.7247.826.pdf

校正：校正は著者による責任校正とする．返送の期日を厳守されたい．

掲載済み論文の訂正・撤回：掲載済み論文の訂正・撤回を希望する場合は，論文投稿時の代表著者が著者全員の同意書ならびに訂正理由書または撤回理由書を編集委員長に提出する．訂正あるいは撤回の最終判断は編集委員長が決定する．論文が訂正・撤回された場合，直近で刊行される学会誌上に書誌事項と理由書を掲載する．また，撤回した論文については，必要な修正を行った後に新規論文として投稿することができる．

科学における不正行為：掲載済論文に不正行為（実験データの改竄・捏造，剽窃，二重投稿等）が見出された場合は，編集委員長の判断でこれを撤回することができる．この場合，直近で刊行される学会誌上に書誌事項と理由書を掲載する．

掲載料金：白黒1頁につき10,000円，カラー1頁につき上限30,000円とする．別冊は実費とし，50部単位で制作する．料金はいずれも税別．**英文抄録は業者校正を受けていることが望ましい（受けていない場合，編集委員会の判断で校正業者に依頼することがあり，その場合の実費は著者の負担とする）．**

原稿の送付：下記へ送付する．原稿は，オリジナル1部とコピー2部（図，写真はオリジナルと同様に鮮明なもの），とCD-R，USBメモリー，ないしはフロッピーディスク媒体でデジタルファイルを提出する．また，万一にそなえて，コピーを手元に保存する．「投稿用シート」（本誌，または北関東医学会ホームページhttp://kitakan.med.gunma-u.ac.jp/を参照）には，必要事項を記入して原稿に必ず添付する．

〒371-8511　前橋市昭和町3-39-22
群馬大学昭和キャンパス内
The KITAKANTO Medical Journal 編集委員会
TEL 027-237-0130
FAX 027-234-0377
e-mail：office.kitakan@gmail.com

Presented by Medical*Online

「THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL」投稿用シート

submission sheet

〈論文名〉 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

〈著者名〉 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1．原著論文は，その内容が過去に他誌に掲載されたり，現在も掲載が予定されていない（投稿中のものを含む）ことを誓約します．

＊他誌の発表したものを掲載する場合は，許可を得る事．

2．論文等の内容については，著者が全責任をもちます．

3．掲載された際には，掲載物すべての著作権を著者全員の代表者として，北関東医学会に委譲します．

年　月　日　代表著者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ㊞

〈原稿種別〉

☐ 原著　☐ 症例報告　☐ 資料　☐ 総説　☐ 流れ　☐ 昭和キャンパス点描　☐ 抄録　☐ その他（　　）

〈学位論文〉

学位論文の場合は，以下の該当項目に記入してください．　☐ 主論文　☐ 副論文

主科目 ＿＿＿＿＿＿　副科目 ＿＿＿＿＿＿　選択科目 ＿＿＿＿＿＿

指導（推薦）教員　所属 ＿＿＿＿＿＿　氏名 ＿＿＿＿＿＿

査読希望者 ＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿

＊査読者：査読者は，本学会の評議員の中から2名とし，その決定は，論文内容に従い編集委員長が行う．

＊英文論文の場合，英文校正を受けることをお勧めします．

〈投稿時確認事項〉

以下の該当項目について確認し，該当する項目の☐にチェックをいれてください．

1．☐ 本論文は，COPE の国際標準（http://publicationethics.org）を遵守して作成した．

2．☐ 動物実験，遺伝子組換え実験は，所属機関の動物実験委員会，組換え DNA 実験安全委員会の許可を得て行い，本文中にそれを明記した．

3．☐ 臨床研究や疫学研究，ヒトゲノム等のヒトに関わる研究は，所属機関の倫理審査委員会等の許可を得て行い，本文中にそれを明記した．（所属機関に然るべき倫理審査委員会等がない場合は，大学や関連学会などの公的な倫理審査委員会の承認を受けて行い，それを明記した．）

4．☐ 症例報告等は，所属機関の倫理規定等に従った．

5．☐ 個人情報の保護につとめた．

6．☐ 私信，未発表データを引用した場合，著者の責任で関係者から了解をとった．

7．☐ 謝辞の記載にあたっては，そこにあげられた方々から了解をとった．

8．☐ 全著者が最終原稿を確認した．

9．☐ 投稿内容に関連して開示すべき利益相反（conflict of interest）がある場合には，その内容を記事の末尾等に記載した．

10．☐ 表紙ページについて．

☐ 標題（和文論文は字数制限無し／英文論文 120 characters 以内）　☐ 英文標題（和文原稿のみ）

☐ 著者名　☐ ローマ字表記の著者名（和文原稿のみ）　☐ 所属機関名

☐ 所属機関所在地

☐ ランニングタイトル（和文論文 20 字以内／英文論文 50 characters 以内）

☐ キーワード（5 words 以内）＿＿＿＿＿＿　☐ 論文別刷請求先

11．☐ 和文要旨（原著論文・項目分け／症例報告・項目分けなし，400 字以内）

12．☐ 本文 ＿＿ 頁　☐ 文献　☐ 図，表の説明　☐ 図 ＿＿ 件　☐ 表 ＿＿ 件

13．☐ 和文論文（原著論文，症例報告）の英文要旨ページ

☐ 著者名（ローマ字表記）　☐ 所属機関名（英文表記）

☐ 所属機関所在地（英文表記）　☐ キーワード（5 words 以内）

☐ 英文要旨（原著論文・項目分け／症例報告・項目分けなし，200 words 以内）

☐ 論文別刷請求先（英文表記）

14．☐ ディスク（CD-R，USB メモリー，またはフロッピーディスク）

15．☐ カラー印刷（1 頁 上限 30,000 円負担）

16．☐ 英文校正済（英文校正済でない原稿は，編集委員会の判断で業者に校正を依頼することがあります．実費負担）

Presented by Medical*Online